

令和6年産 仙南稲作情報（第7号）

令和6年8月29日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL：0224-53-3496 FAX：0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

- 出穂後の高温により、玄米品質の低下が予想されます。
- 7月中旬に出穂した場合、8月中に刈取適期（出穂後の積算平均気温 1,000℃頃）に達しています。
- 積算気温や籾の熟色から、適期に刈取を行い、刈遅れによる品質低下を防ぎましょう。

1 気象経過（丸森アメダス、7月20日～8月25日）

- 登熟期間中（7/20～8/25）の平均気温は、平年と比較してかなり高く推移している（平年+3.0℃）。また、同期間中の平均気温は、記録的高温年であった令和5年度並であった（-0.4℃）。
- 降雨量は平年の7割程度と少ないが、8/17に台風によるまとまった降雨があった。日照時間は平年並（99%）。

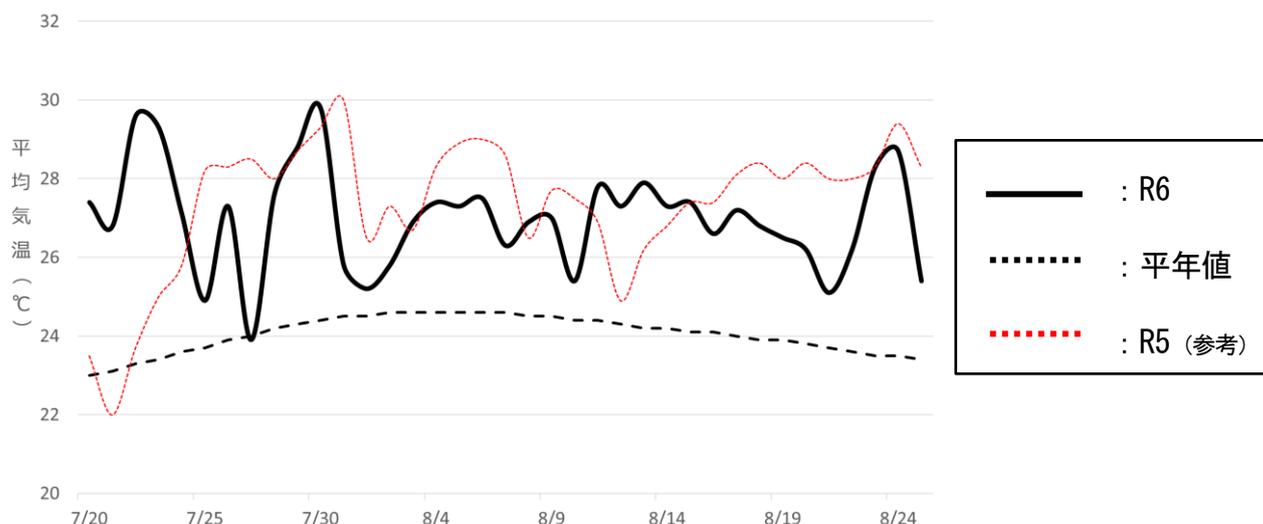


図1 気象経過（丸森アメダス、7月20日～8月25日）

※仙台管区气象台（8/22発表）の「向こう1か月の天候の見通し」では、東北地方太平洋側の日照時間は「ほぼ平年並」、降水量は「多い」、気温は「高い」見込みで、期間の全体（8/24～9/20）を通じて高くなる見込みです。



（参考）気象庁「高温に関する早期天候情報（東北地方）」

2 今後の管理

（1）水管理

- 収穫作業前の落水の適期は出穂後 25～30 日目頃が目安になりますが、後述の刈取適期やほ場の保水力（乾きやすさ）、天候による乾湿の状態などを考慮して決定しましょう。

(2) 刈取適期の予測

一般的には、籾の80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から1/3程度黄変したときが成熟期になります。下記の予測法を組合わせて刈取適期を判断しましょう。また、収穫用機械や乾燥調製施設等の点検・整備は早めに行いましょう。

①出穂後の積算平均気温による予測

- ・出穂期後の毎日の平均気温を積算して判定します。概ね1,000℃の頃が収穫適期の目安となりますが、品種により異なります(表1, 2)。
- ・今年は、出穂後の気温が平年よりも高く推移したことから、刈取適期に達する日数が短くなっています。刈遅れに注意しましょう。

表1 品種別の出穂後積算気温による刈取適期の目安

品種名	出穂後の積算気温	備考
ひとめぼれ	940～1,100℃	
つや姫	1,000～1,200℃	出穂後1,200℃を超えると茶米の発生が多くなるため、収穫時期に留意する。
だて正夢	1,020～1,060℃	
まなむすめ	960～1,050℃	
ササニシキ	930～1,170℃	

表2 出穂後の積算平均気温と出穂期毎の積算平均気温到達日の予測

地帯	積算平均気温(℃)	出穂期						備考
		7月15日	7月20日	7月25日	7月30日	8月4日	8月9日	
南	940	8月20日	8月24日	8月30日	9月5日	9月10日	9月16日	令和6年度の南部平坦の出穂期は7/25
部	1,000	8月22日	8月27日	9月1日	9月7日	9月12日	9月18日	
平	1,100	8月26日	8月31日	9月6日	9月11日	9月17日	9月23日	
坦	1,200	8月30日	9月4日	9月10日	9月15日	9月21日	9月28日	

注) 8月25日までは丸森アメダスの令和6年のデータを使用。8月26日から9月20日は気象庁の1か月予報気温確率予測資料(地点:仙台、期間:8月24日～9月20日)から入手した平均気温予測値を基に、同期間中の丸森アメダスと仙台アメダスの平均気温平年値の差で補正したデータを使用。9月21日以降は、丸森アメダスの平年値データを使用して算出した。

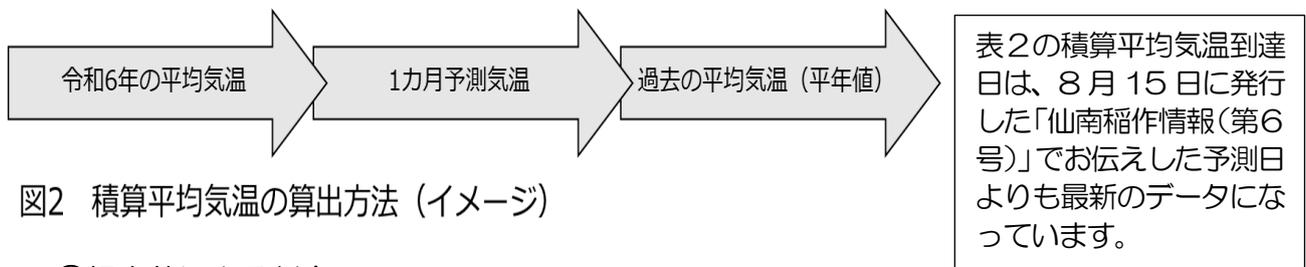


図2 積算平均気温の算出方法(イメージ)

②籾水分による判定

- ・25%(刈取早限)～21%(刈取晚限)が目安です。
- ・コンバイン収穫では籾水分が高いと損傷が多くなり、胴割粒が増加するため、籾水分25%以下を目標にしましょう。